

医学研究センター

研究主任部門

海老原 康博
(部門長)

1. 構成員

部門長 海老原康博 (EBIHARA Yasuhiro) : 国際医療センター中央検査部: 教授 (任期: R7.3.31)
副部門長 下岡聡行 (SHIMOOKA Toshiyuki): 保健医療学部医用生体工学科: 教授 (任期: R7.3.31)
横田和浩 (YOKOTA Kazuhiro) : 大学病院リウマチ膠原病科: 准教授 (任期: R7.3.31)
百瀬修二 (MOMOSE Shuji) : 総合医療センター病理部: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員 町田早苗 (MACHIDA Sanae) : 医学研究センター: 講師
医学部の全基本学科及び保健医療学部の各学科研究主任

2. 目的・目標

本部門は、埼玉医科大学医学研究センター規程第3条により構成され、第9条に則り、研究現場とセンターの密な連絡を保つための活動を行うことを業務としている。研究主任に対して、基本学科の研究の責任者であると同時に研究費を適正に管理・運用する責任者であることも自覚していただき、適正な運用を推進するよう指導する。研究者向けの情報を発信し、研究主任から各所属部署内での周知徹底を依頼する。学内での共同研究が推進できるよう体制整備に努め、支援活動を行う。学内グラント成果発表会を2回/年開催し、学内の研究推進を図る。

3. 活動実績

(1) 学内グラント受賞者成果発表会の企画・開催

ア 第26回学内グラント受賞者成果発表会

2023年7月14日(金曜日) 17:00~18:15

毛呂山キャンパス第3講堂

総合医療センター 管理棟2階 カンファレンス1 (テレビシステム中継)

国際医療センター 教育研究棟 5階会議L-5-2 (テレビシステム中継)

学内LAN ライブ配信

ビデオ収録配信

発表内容

演題1: 17:05~ 座長: 加藤 崇央 (医学部 総合医療センター 麻酔科)

松田 祐典 (医学部 総合医療センター 麻酔科)

「帝王切開出産後回復の定量的評価とERAS実施による回復促進効果」

(2022年度科研費申請支援・2023年度科研費採択奨励費)

演題2: 17:20~ 座長: 前田 卓哉 (医学部 埼玉医科大学病院 臨床検査医学)

今井 孝 (医学部 基礎医学部門 微生物学)

「マラリア感染と小胞体ストレス」

(2022年度科研費申請支援・2023年度科研費採択奨励費)

演題3: 17:35~ 座長: 安田 重光 (医学部 埼玉医科大学病院 内分泌内科・糖尿病内科)

武者 育麻 (医学部 埼玉医科大学病院 小児科)

「グリコアルブミン/HbA1c比によるヘモグロビン糖化の遺伝的表現型推定法」

(2022年度科研費申請支援・2023年度科研費採択奨励費)

演題4: 17:50~ 座長: 篠田 裕介 (医学部 埼玉医科大学病院 リハビリテーション科)

佐藤 弘 (医学部 国際医療センター 消化器外科)

「食道がん術後のテーラーメイド医療を目指した長期的リハビリテーションと栄養管理の検討」

(2021年度科研費申請支援・2022年度科研費採択奨励費)

参加人数：合計 91 名

毛呂山キャンパス 25 名
日高キャンパス 4 名
川越キャンパス 5 名
ライブ配信視聴者 38 名
録画配信視聴者 30 名

イ 第 27 回学内グラント受賞者成果発表会

2024 年 3 月 22 日（金曜日）17：00～18：10

毛呂山キャンパス 本部棟 第 3 講堂
川越キャンパス 管理棟 4 階 会議室 2（テレビシステム中継）
日高キャンパス 教育研究棟 2 階 会議室 1（テレビシステム中継）
学内 LAN ライブ配信
ビデオ収録配信

発表内容

演題 1：17：05～ 座長：横尾 友隆（中央研究施設・日高ランチ 実験動物部門）
熊谷 恵（医学部 基礎医学部門 生理学）
「食事時間制限法（TRF）が睥島β細胞の分化・成熟に及ぼす影響と作用機序の解明」
（2021 年度科研費申請支援・2023 年度科研費採択奨励費）
演題 2：17：20～ 座長：岩崎 由希子（医学部 埼玉医科大学病院 緩和医療科）
相崎 良美（医学部 埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科）
「NK 細胞と単球細胞の機能解析による成人発症スチル病の病態解明」
（2022 年度科研費申請支援・2023 年度科研費採択奨励費）
演題 3：17：35～ 座長：大間 陽子（医学部 基礎医学部門 教養教育（生物））
浦西 洸介（医学部 基礎医学部門 ゲノム基礎医学）
「Mga を足場とした構造的クロマチン形成による減数分裂遺伝子抑制機構の解析」
（2022 年度科研費申請支援・2023 年度科研費採択奨励費）

参加人数：合計 92 名

毛呂山キャンパス 32 名
日高キャンパス 6 名
川越キャンパス 5 名
ライブ配信視聴者 48 名
録画配信視聴者 5 名

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

本年度から、学内グラント受賞者成果発表会の発表者は学内グラント受賞により得た資金を使って、翌年以降に科研費を獲得できた発表者に限って発表を行なっている。内容・形式を改善し、科研費を獲得するために工夫した点も含めた発表にすることで、より多くの参加が得られ、活発な討論を展開できるように対策している。また、新型コロナウイルス感染拡大の対応により、会場での参加に加えて、ライブ配信を取り入れて学内グラント成果発表会に参加しやすい環境を取り入れた。この結果徐々に参加者が増加傾向にあると考えられる。ただし、第 27 回学内グラント受賞者成果発表会では通信不良のため 1 演題をキャンセルする不手際があった。この点は反省すべき点である。また、毎月行われている医学研究センター運営会議議事録（抜粋）を各研究主任に送付して情報提供を行なっている。

4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

今後は、全学規模で行われている「オール埼玉医大研究の日」とも連携して、学内グラント受賞者成果発表会により多くの参加者が得られるようにさらなる改善を行っていく。

医学研究センター運営会議議事録（抜粋）に限らず、研究主任を通して 3 キャンパス内で行われている研究の内容を学内研究者に情報提供し、共同研究・研究連携を推進する。

次回以降の学内グラント受賞者成果発表会は Zoom を取り入れて開催する。